

八王子 水のまちニュース

第17号
令和3年2月

八王子市水循環部
水環境整備課
042-620-7291（直通）
042-626-3019（FAX）

第10回あさかわ写真コンクール結果発表

節目となる第10回を迎えた「あさかわ写真コンクール」。力作ぞろいの応募作品360点の中から、27点の入選作品が決定しました。（今回は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、表彰式は行いませんでした。）



一般の部 最優秀賞



中西 隆さん 「晩秋」



中学生以下の部 最優秀賞



佐々木 結衣さん 「川にうつる夕日」

全入選作品は市のホームページでご覧いただけます。ぜひご覧ください。

◇八王子市ホームページ「あさかわ写真コンクール」

<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/life/002/004/002/p024112.html>



水のまちニュース第17号もくじ

表紙

第10回あさかわ写真コンクール結果発表

中面左

市の事業より「台風被害の復旧続く」・「撮影に協力し外来種駆除 堀之内『宮嶽池』にて」／水辺の話題「かいぼりって何だろう？」

中面右

まちの話題「水辺の水護り制度登録団体『八王子清流の会』の活動」

裏表紙

八王子・水の歴史「湧水と燃糸業」／水辺の生きもの「ジュンサイ」／編集だより

市の事業より

台風被害の復旧続く

令和元年の台風第19号による市内水路の被害は約140箇所にも及びました。現在、小津町 入山川の護岸復旧をはじめ、市内各所で復旧工事を行っており、今年度末で全箇所の対応が完了する予定です。



↑被災直後の入山川（2019.11）



↑復旧工事中（2020.12）

撮影に協力し外来種駆除 堀之内「宮嶽池」にて

テレビ東京「緊急 SOS！池の水ぜんぶ抜く大作戦」の撮影が令和2年8月に、堀之内の宮嶽池で行われました。当日は、出演者や近隣ボランティアが特定外来生物であるウシガエルの成体やおたまじゃくし、アメリカザリガニを捕獲し駆除。また、メダカ・ヨシノボリ・ハイイログエンゴロウなどの在来種も発見され、隣接する川に放流しました。今後はこの池の活用に向け、整備の検討を行う予定です。



↑水を抜いた宮嶽池（2020.11）

水辺の話題

「かいぼり」ってなんだろう？

「かいぼり」とは、「池・沼などの水を汲みだして干し、中の魚を捕ること。」（広辞苑第六版より）です。かつては農作業が終わる冬に農業用ため池のかいぼりをして、護岸の点検・補修を同時に行うとともに、池底の泥を取り除いて貯水量を回復させ、泥は畑にまいて肥料にするという多くの目的を兼ねていました。

近年は、公園などの池で増えてしまった外来種の駆除や、水質改善を目的に行われているようです。また、池底の泥の中で眠っていた種子が発芽し、水草が復活する効果も期待できます。

裏表紙（4ページ目）の「水辺の生きもの」では、長池公園の長池をかいぼりして発芽した「ジュンサイ」を紹介しています。



まちの話題

「八王子清流の会」の活動



今回は、「水辺の水護(みまも)り制度」に令和元年10月に登録し、水辺調査活動を行っている“八王子清流の会”の沼田さんと田中さんに、お話を伺いました。

“八王子清流の会”は、平成10～25年度、市とともに八王子の生活排水対策に取り組み、河川の水質測定などを行ってきた“八王子に清流を取り戻す市民の会”の会員によって、平成26年に設立されました。現会員は10名です。

活動内容は、八王子市内を源流とする16の一級河川の28地点における水辺調査の実施です。令和2年度は12河川、19地点で調査を行っています。調査地点は、川に子供たちが遊び、憩い・集いの場所としてふるさとの川を誇れることを願い、なるべく小学校の近くを選んだとお聞きしました。



↑城山川の調査地点 五反田橋上流



↑ごれいや川の調査地点 ごれいや御霊谷神社前



↑大沢川の調査地点 式分方小学校上流

沼田さんと田中さんから、八王子市内の小学校の校歌は、地域の川にちなんだ歌詞のものが多く教えていただきました。

『八王子はまさに川の文化である』との思いで活動されているとのこと。



「水辺の水護^{みまも}り制度」は、地域の方々や学校・事業者の方などが、身近な水辺の保全のために水辺を活用して行う活動に対し、市が用具の貸与などの支援をするものです。

登録は随時受け付けておりますので、ぜひ本制度をご活用ください。詳しいお問い合わせは水環境整備課へ。

【主な活動の例：清掃活動、環境学習・自然体験学習、水質調査や水生生物調査など】

八王子・水の歴史

「湧水と撚糸業」

かつての八王子宿周辺の村々では、農家の副業として織物が生産されており、明治時代には農家の女性の多くが機織りの技能を習得していました。糸をよる「撚糸」の工程は、当初は手動の撚糸機で行われていましたが、水車を用いた「水力八丁撚糸機」の登場により水が利用されるようになりました。そのため、湧水と川の水が豊富な中野上町から大和田町にかけての浅川左岸側や、明神町・子安町などの地域に撚糸工場が集中していました。湧水は、八王子の織物産業を支える重要な存在でした。

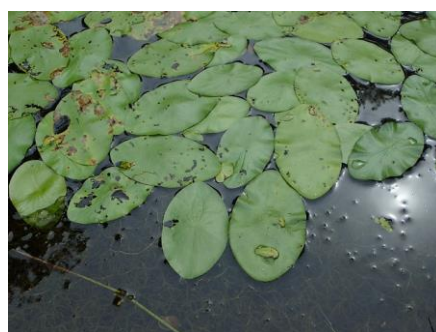


※詳しくは「新八王子市史 民俗編」をご覧ください。



～ジュンサイ～

ジュンサイは栄養分の少ない池沼に生育するジュンサイ科の水生多年草で、地下茎から伸びた葉柄(ようへい)の先に楕円形の浮葉(うきば)をつけ、夏に直径2cm程で花被片(かひへん)6枚、紫紅色の花を咲かせます。世界中の温帯に分布しますが、日本では多くの地域で絶滅危惧種となっています。一方、秋田県などでは食用として栽培されています。



↑ジュンサイ (撮影地：岩手県)

八王子市では1959年、東京都による文化財総合調査により別所長池(現長池公園内)で生育が確認されましたが、1967年の干ばつとその後の環境悪化が影響し、姿を消してしまいました。現在東京都内では絶滅種に指定されていますが、2019年秋から翌年春にかけて行われた長池の「かいぼり」によって、池底の土から休眠していた種子が60年ぶりに掘り起こされ、数株が発芽しました。



↑発芽した埋土種子(2020.6)

(参考：新八王子市史自然編、ひとまちみどり由木・東由木地区公園ホームページ、東京都レッドデータブック2013) 【写真提供：長池公園】

～編集だより～ 中面で紹介した宮嶽池での撮影後日、市の職員によって再度外来種駆除を行いました。私も勇んで参加し、胴長靴を履いて池に突入。ところが、いざ入ると池底の泥は深く重く、はまった足が抜けにくい…。もがいているうちにお腹まで埋まってしまい、数人がかりで引っ張り出してもらうことに。その後は発泡スチロールのいかだに乗って駆除作業に参加しましたが、池の中での作業がいかに大変かを体感しました。